ハトダヨ
2017年
8月号

函館市中央図書館だより

編集・発行 函館市中央図書館
指定管理者 TRC 函館グループ
TEL 35-5500 FAX 35-5525

第16号 平成29年8月1日 発行

予約ランキング

図書館でたくさん予約が入っている本は何か、みなさんはご存知でしょうか。
ランキングを参考に読みたい本を探すのも一つの方法です。
ご予約は図書館の窓口、またはインターネットからどうぞ。

＼平成29年7月1日現在，予約回数の多かった本をご案内しています／

1	蜜蜂と遠雷	恩田　陸／著
2	素敵な日本人	東野　圭吾／著
3	騎士団長殺し　第１部	村上　春樹／著
4	騎士団長殺し　第２部	村上　春樹／著
5	罪の声	塩田　武士／著
6	コーヒーが冷めないうちに	川口　俊和／著
7	コンビニ人間	村田　沙耶香／著
8	九十歳。何がめでたい	佐藤　愛子／著
9	みかづき	森　絵都／著
10	我らがパラダイス	林　真理子／著
11	雪煙チェイス	東野　圭吾／著
12	三鬼	宮部　みゆき／著
13	i	西　加奈子／著
14	劇場	又吉　直樹／著
15	声なき蟬　下	佐伯　泰英／著
16	この嘘がばれないうちに	川口　俊和／著
17	声なき蟬　上	佐伯　泰英／著
18	BUTTER	柚木　麻子／[著]
19	夜の谷を行く	桐野　夏生／著
20	君の膵臓をたべたい	住野　よる／著

イベント告知

平成２９年度　第５７回　市民文芸　作品募集中です！

募集作品：随筆・小説・文芸評論・ノンフィクション
・詩・短歌・俳句・川柳

公募期間

７月１日～９月３０日　消印有効

チラシ裏面の【応募用紙】を使っても応募できます！
気軽に書いて、出してみませんか？
たくさんのご応募お待ちしております！

ハトダヨにしか載っていない！

ぜひ読んでみてください！

スタッフのおすすめ本

棚：A13～15
請求記号：486.8 ﾔｽ

タイトル：**「イモムシハンドブック〔1〕**

著者：安田　守　出版社：文一総合出版　（2010 年 4 月）

日本に数多くいるチョウやガの仲間のうち 226 種について幼虫であるイモムシ・ケムシをメインに解説しているイモムシ図鑑です。イモムシというとチョウになる前の姿として地味なイメージがありますが、宇宙人のような姿をしたイモムシや忍者のように周りに溶け込んで隠れるイモムシなど、読んでみるとなかなか奥深い世界です。携帯しやすいサイズなので野外散策のお供にどうでしょうか。全 3 巻でどれも貸出可能です。

棚：閉架書庫 2 ほか
請求記号：Y914.6 ｲｾ

タイトル：**「グレイのしっぽ」**

作：いせ　ひでこ　出版社：理論社（1999 年 6 月）

絵本作家である著者が、愛犬グレイとの日常を描いたシリーズの最終巻。1 作目、2 作目では成長するグレイの姿が書かれていますが、3 作目であるこの本はがんを発病したグレイの闘病とその最後について書かれたものです。日々弱りながらも生きていくグレイとその介護をする著者の姿が切ない描写で語られています。

読後にはペットと過ごす時間を大切にしようという気持ちになれる一冊です。

棚：千歳図書室
請求記号：B912.7 ｷｻ 1

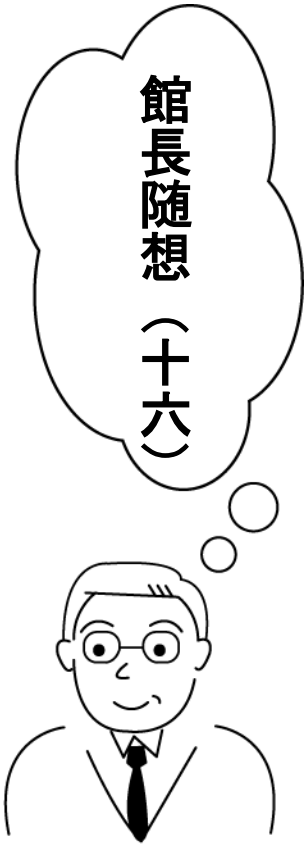
タイトル：**「すいか１」**

著者：木皿　泉　出版者：河出書房新社（2013 年 8 月）

人生に行き詰っている 34 歳の主人公基子は、まかない付きの下宿「ハピネス三茶」で暮らしはじめます。個性的な住人たち、3 億円を横領し全国を逃げ回っている同僚の馬場チャンなど様々な人とのかかわりが前に進めない基子を少しずつ変えていきます。ショートケーキ、買い物のメモ、茶碗に残った梅干しの種。なんでもない日常の中にあるものの尊さやかけがえのなさ、そこに宿るちょっとした奇跡。コメディタッチで描かれているので軽く読めますが、ひとつひとつの言葉やエピソードが心に残ります。

ドラマをもとにした本ですが、小説化したものではなくシナリオ形式で書かれています。自分で俳優をキャスティングし、場面を想像しながら読むのも楽しいかもしれません。2 巻には書き下ろしの後日談が収録されていますので、ドラマを見ていた方もぜひご覧になって下さい。

館長随想（十六）



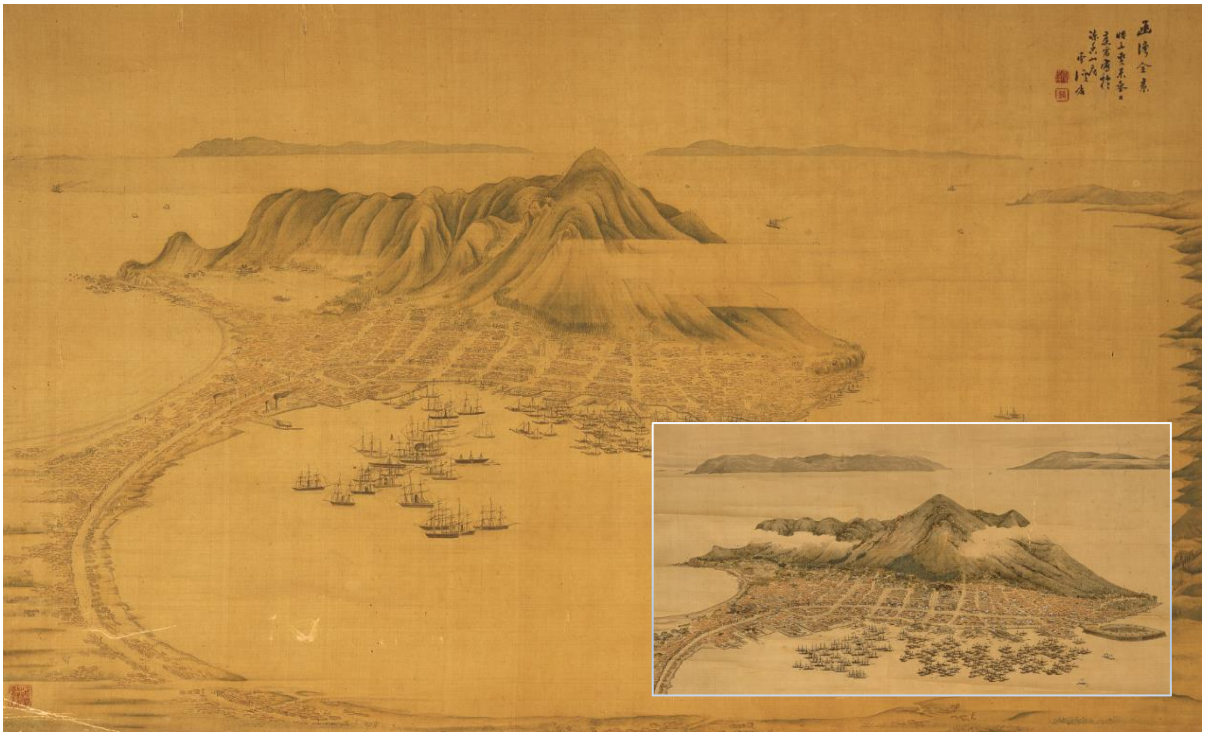
八月に入り、図書館は夏休みの小中学生や高校生、大学生で賑わっています。夏休み前半の七月は遊んでいても、そろそろ宿題が気になる時期です。図書館にはそういう小学生から大学生まで大勢が勉強にやってきます。図書館に多くの机がありますが、いつも満席状態になってしまいます。職員は定期的に館内を回っていますので、席が無い時は声をかけてください。館内は広いですからいくつかの空席がある場合が多いです。一緒に席を探します。

八月の悩みはなんといっても暑いことです。できるだけ来られた方が気持ちよく読書できる環境を作りたいと、施設担当の職員は気を配っています。しかしながら、広い図書館ですから、均一に冷房をかけても暑い所、涼しいどころか寒く感じられる場所ができてしまいます。職員に声をかけていただきたいですが、調整が出来ない場合はご容赦ください。

六月の終わりから、急に暑くなったためか、館内で具合が悪くなる高齢者が増えています。今年は急な温度変化で例年より多いようです。席で倒れた方がいると伝えていただくと、職員は水、冷却剤、毛布などを持って駆け付けます。水を飲んでいただくと、軽い症状の方は回復しますが、救急車を呼ばなければならない時もあります。高齢の方は水分をまめに補給していただくなどして、体調管理をお願いします。不安のある方は、ご家族と一緒にいらしていただければ、私共も安心です。

若い方でも夏は体調を壊す方も多いので、十分体調に気をつけて、楽しく図書館をご利用ください。

デジタル資料館 紹介



「函湾全景春」（be000148）と「函湾全景秋」（右下）（be000439）

1883（明治 16）年に澤田雪渓が描いた作品です。構図は似ていますが、雰囲気が変わります。

ともしび号だより

Vol.2

知ってほしい！ともしび号

前年度実施したアンケート結果では、「ともしび号を利用したことがある」が約１０％、「利用したことはないが知っている」が約１５％と、利用度だけでなく認知度も低いことがわかりました。でも実は、知っているととっても便利な図書館バスなんです。

ともしび号の便利な使い方

市内２７ヵ所を巡回しているともしび号、皆さまの生活圏におじゃましていませんか？
貸出はもちろん、中央・地区図書室で借りた本の返却や、予約リクエストも受けており、ご予約の本の受取場所に指定することも可能です（窓口受付に限り）。
買い物やお散歩ついでに…いつもの図書館とは違った気分での本選び、おすすめです。

※身分証があればその場ですぐに利用者カード（市内共通）も作れます。

ワンポイントアドバイス！

停車場所が小学校でも、一般の方も利用できます。時間内の前半は混雑することが多いので、ゆっくりご覧になる方は児童の下校時間を避けるといいかもしれません。

バス内は・・・

一般の本から児童書まで全部で 1,500 冊ほどの本を積んでいますが、中央図書館内にあるＢＭ室にはバス用の本が約 14,500 冊あり、毎日行く先々のお客様を思い浮かべながら積み替えしています。毎回どんな本に出会えるか、ぜひ本との一期一会をお楽しみください。

知って得する耳より情報！

入口が狭く、中の様子もわからない。初めて利用する方は少しドキドキしてしまうかもしれませんが心配ご無用、初めての方も大歓迎です！！ 実はともしび号の本は比較的状態がよくキレイ。さらに、他館では棚に並んでいない人気の本が積んであることも！ 手にできたあなたはとっても幸運です♪

BM室(ともしび号用書庫)

車庫

バス車内

≪読んでみませんか？≫ 移動図書館を題材にした連作短篇集

「本バスめぐりん。」 大崎梢／著（東京創元社　2016 年）

司書のウメちゃんと運転手のテルさん、そして利用者さん同士の、本と場所を通じて繋がる日常が描かれたハートフルミステリー。移動図書館を利用したことのない方も、この本を読むとイメージがふくらみ、足を運んでみたくなると思います（実際はこのお話のような謎解きや出来事はなかなか起きませんが！